

# 平成28年度入学式

平成28年4月5日(火)10時から本校第一体育館において、平成28年度入学式が挙行されました。本科新入生202名、留学入学者5名、編入学生4名、専攻科入学生21名の合計232名に校長から入学許可宣言があり、入学生宣誓、校長告示、在学生代表の歓迎の言葉、新入生答辞、国歌斉唱が行われました。



## 告辞

### 校長 大久保 恵

ここ小山市は、高専通りの桜をはじめ多くの花々が咲き誇って、春爛漫の美しい季節を迎えております。

本日、ここにご来賓の皆様、並びに保護者の皆様方のご列席のもと、平成28年度小山工業高等専門学校本科および専攻科の入学式を挙行できますことは、私も教職員ならびに在校生にとり、この上ない喜びでございます。

先ほど、本科新入学生202名、留学入学者5名、編入学生4名、専攻科入学生21名の合計232名に入学の許可をいたしました。

新入生の皆さん、小山工業高等専門学校への入学、おめでとう。若さに溢れ、夢と希望に満ちた皆さんを本校すべての教職員とともに心から歓迎いたします。また、ご列席の保護者の方々におかれましては、本日もたくさん小山工業高等専門学校にご子弟が進学されたお慶びは格別のことと推察し、心からお祝いを申し上げます。

本科への新入生の皆さんは、希望した小山高専への入学を果たした達成感とこれからの勉学への期待感に心弾ませ、今日の入学の日を迎えたことと思います。

是非頑張ってください。

皆さんは将来優れたエンジニアあるいは研究者になるという「志」を立てて、本校に入学されたと思います。技術を志すことは社会に貢献できる立派な生き方であると考えます。

社会の発展につながっている技術の実例を挙げてみましょう。140年前グラハム・ベルが発明した電話器は日進月歩の技術革新を経て、今やIT技術が詰まったスマートフォンにまで進化し、皆さんも手にしているように身近なモバイルコミュニケーションが可能になりました。衝突を回避できる自動運転システム、ガンや難病を克服する特効薬の開発、災害に強く安全性の高い建造物の設計など、一例にすぎませんが、過去・現在・未来に渡って技術が社会の進展に影響を与え、とともに新たな技術が待たれています。その主役となるエンジニアに寄せられる社会の信頼と期待はますます高くなっていると言えます。エンジニアに向かう道は一人の人生をかけるだけの価値あるものであり、皆さんが若くしてエンジニアに向かおうとする志は極めて尊いものであり、小山高専全体として支援してまいります。

社会の期待が高いということは求められるものも高